

令和5年9月10日(日)

関係各位

ろう・難聴教育研究会 代表 野崎 誠

代表就任の挨拶

平素は当会の事業についてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
この度、令和5年度総会におきまして、代表に就任いたしました野崎 誠でございます。

私がろう教育に関する活動に携わりましたのは、教員としてフリースクールで働き始めたことがきっかけです。そして、ろう児たちの明るい未来、夢のお手伝いをする団体、「しゅわえもん」を立ち上げました。主に自然体験活動のキャンプ企画、手話による絵本読み語りの活動を行っています。長年のこの経験をもとに今後のろう教育の未来をよりよくしていくように尽力していきたいと存じます。

また、当会の前身であります「TC研」(トータルコミュニケーション研究会)は、1975年の聴覚障害教育国際会議が東京で開催されたことが原点でございます。「利用可能なすべての手段を使い100%のコミュニケーションの実現を目指す」というトータルコミュニケーションの理念を元に、当時、口話主義のただ中であつたろう教育変革を目指すために有志が集まり「TC研」を発足させました。その核となる目標は「ろう教育に手話を」の実践と運動でした。

折しも1981年の国際障害者年が契機になり、国内では1989年に第一回ろう教育の明日を考える全国討論集會が開かれました。その10年後1999年フリースクール開始、さらに10年後2003年人権救済申し立ての運動などと大きな波が起きました。

さらに本会は、2003年7月に、「TC研」から「ろう・難聴教育研究会」と名称変更しましたが、これは、ろう教育の変化、社会状況の変化に柔軟な事業と運動を展開するためでした。

さらに20年が経ち、ろう、難聴児の教育現場はより大きな変化にみまわれています。

これまでも、またこれからも、ろう、難聴児教育の現場に寄り添い、タイムリーかつ実践的な事例の研究を通じて、ろう、難聴乳幼児また児童が心豊かに成長し成人となり社会との接点を持ち生きていけるよう、関係機関と連携しながらろう、難聴児教育の充実と発展に貢献していきたいと存じます。

この度、書面ではございますが、代表就任にあたり長年ろう教育を牽引してこられました関係各位の皆様への敬意を表して感謝の意を申し上げます。

今後も当会の運動の理念に基づき、ろう教育の一翼を担うべく努めてまいり所存でございますので、関係者の皆さま、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げますことご容赦いただきたく存じます。

運営委員改選に伴い運営体制を変更しました。

代表：野崎 誠

事務局長：森崎恵子

役員：新井孝昭、井上正之、加藤慶子、佐藤玲子、下村宏亮、田中 謙、長谷川 洋、丸山紗矢香、南村洋子

会計監査：江川麻貴

以上